

第7回旧吉田茂邸再建検討委員会結果概要

〔日 時〕平成22年8月19日（水）午後7:00～午後9:00

〔場 所〕大磯町役場4階第1会議室

〔出席者〕

（委員 長）中島遺産保存会副会長

（委 員）土方区長連絡協議会会長、三上区長連絡協議会副会長、
新宅商工会副会長、大澤観光協会副会長、吉川中丸町内会長、
宮代ガイドボランティア協会会長、岩井教育委員会委員、
大倉氏（学識経験者）

（事 務 局）5名

1 黙 禱

開会に先立ち、西小磯西区長として平成22年3月まで委員を務められた添田宏氏が平成22年7月に他界したことにより、氏の冥福を祈り黙禱を行った。

2 町長あいさつ

みなさんこんばんは。

このたびは、暑い中お集まりいただきましてありがとうございます。

本日は、西小磯西区長の仲川壽男氏への委嘱状交付を行う予定でございましたが、ご本人の都合が急遽つかなくなったということで、委嘱状につきましては、後日お届けさせていただきたいと思っております。

昨年、3月22日、大磯町の名誉町民でございます、吉田茂元総理の邸宅が焼失してしまわれたことは、大変残念なことです。昨年7月1日に「旧吉田茂邸再建基金条例」を定め、町としては全国に向けて募金活動を展開し、1年余りが経過しました。

おかげさまで基金の積立額は5,500万円を超える状況となっており、再建方法についても県とともに多角的に検討をしているところでございます。

去る2月5日には、再建の意義を全国に発信するため、東京のグランドプリンスホテル赤坂において、シンポジウムを開催し、吉田茂像についての理解を深めたところですが、再建に向けましては、より多くの方の御理解と、より多くの方からの浄財を得ることが、今、何よりも求められておりますので、町内におきましても、町民の理解を促す取組は是非とも進めていかなければならないことと思っております。

本日は、地区説明会の開催や再建を求める署名について議論されるということですが、委員のみなさまをはじめとする町民の積極的な関わりが、将来の町をあげての明るい話題となることを祈り、活発な議論をお願いし

たいと存じます。

本日はどうもありがとうございました。

3 開会

(1) あいさつ

ア 委員長あいさつ

大変に異常な暑さの中で、お集まりいただき、恐縮している。後ほど事務局から説明があると思うが、湘南国際マラソンのサイトから、募金ができるようなしくみや、私事だが、慶応大学発行の総合雑誌「三田評論」6月号に、吉田茂に関する寄稿文を載せている。掲載文については、町長を通して知事にも渡っている。

旧吉田茂邸の再建を目指すには、地元の盛り上がりが必要と考えている。

先日、なぎさの祭典などで募金活動の様子を見たが、もっといっぱい幟を立てて目立つように工夫したらどうかと感じた。焼失してから1年以上経って、関心が薄れていることもあるので、これを改善し、是非とも成し遂げたいと考えている。

4 議題

(1) 募金活動の状況について

(事務局)

【資料1】に基づき説明。

基金額は、平成22年8月10日現在で55,115,460円。

831件43,729,152円の納付に募金箱の1,373,752円を合計した45,102,904円が募金額、なお、募金箱の金額を人数換算するとおよそ1万3,700人からの募金があったものと推定できる。これに、町からの積立金10,000,000円と利息額を含めた額の合計が募金額となっている。

自動販売機は、本庁舎に2台、世代交流センター、生涯学習センターに1台ずつ設置しており、本庁舎の2台にかかる4月～5月の募金額は72,380円となっている。

湘南国際マラソンでは、ジャストギビングという方法で、マラソンなどにチャレンジする人の応援者から寄附を募るものである。

今後は、地域住民を対象に説明会を実施するとともに、署名活動の際に募金のちらしを添付して協力依頼をしたいと考えている。

(委員長)

ただいまの説明について質問や意見があればお願いしたい。

地元の盛り上がりを期待しているのに、町の中からの寄附が少なく、町内

の納付件数が 379 件という状況はよくないと思う。募金箱で 1 万人という見方もできるが、3 万人の住民がいる町で、肝心の大磯町内がこの数字ではどうなのだろうと思う。町長や議員が寄附することについては、町長とも議長とも話したが、法律的に難しいという見解をいただいている。

今まで他人の屋敷だったものが、県立公園になって、いろいろな方法で自分たちが 1 万坪の庭園だけでなく、建物の中まで入れる施設になり得るのだから、そのところで町民にもっと関心をもってもらっても良いのではないかと思う。

(2) 町民の理解促進に向けた説明会の開催について

(事務局)

【資料 2】に基づき説明。

町内の各地区で説明会を開催したいと考えている。説明会には再建についての取組をまとめた説明資料や旧吉田茂邸内部の説明資料にちらしを加えたものを用意したい。また、説明後はコンシェルジュ神奈川「思い出の吉田茂邸」を放映して、町民の理解促進を図りたい。

(委員長)

コンシェルジュ神奈川「思い出の吉田茂邸」は私も拝見したが、なかなかよくできたビデオだと思う。説明資料についても、神奈川県や大磯町の会議の様子がわかるようになっている。

過日、議長や副議長と話し合いをしたときに、いろんな意見が出たのだけれども、両者とも協力したいとの意向を示していた。街頭募金についてもすぐにはできるのかと思っていたが、なかなか声がかからないので拍子抜けしている。自動販売機についても、購入する方は募金しているという実感が湧かないだろうと思う。2ヶ月で7万円集めても、全体の額には大きな変化はないし、アイデアは良いと思うが 100 台くらいでやらないと効果として表面に出てこないと思う。

(委員)

資料は全て白黒で配るのか。

(委員長)

できればカラーが望ましいがどうなのか。

(委員)

説明会の対象人数がかなりの数に上ると予想されるので、経費の問題も出てくると思うが。

(事務局)

再建基金の協力依頼のちらしと郷土資料館の作成パンフレットはカラーで、

用意するが、その他の資料は白黒の予定。

(委員長)

すべての資料をカラーで用意すると経費の問題もあるし、同じ写真が重なっているのだから、ちらしとパンフレットの2つの資料がカラーで用意できるのであれば良いのではないか。

(委員長)

地区の説明会日程はどの程度決まっているのか。

(事務局)

8月29日の北下町以降、24地区中6地区の開催日程が既に決まっている。

(委員)

地区会館も貸し館をやっているところがあるので、残り18地区の日程については、町から具体的な日程の投げかけをして、早めに進めてほしい。

(委員長)

せっかく説明会をはじめても、間隔が開きすぎると効果が薄れるので、間隔を詰めてやっていただきたい。

(3) 旧吉田茂邸の再建を求める署名について

(事務局)

【資料3】に基づき説明。

旧吉田茂邸の再建を求める署名(案)の要望趣旨と要望項目について意見をいただきたい。

(委員長)

具体的にどのように署名を集めるのか。

(事務局)

説明会の際に案を提示してPRし、その場でできるだけ多くの人に署名してもらいたいと考えている。その後、希望としては、地区の回覧にのせてお願いしたいと思っている。

(委員長)

添付資料は付けないのか。

(事務局)

説明会で使用するちらしやパンフレットなどを添付して回覧したい。

(委員)

地区の連絡網を通して署名を求めることは、町民の目にもつくと思うし良いと思う。

ただ、回覧のときに地区のみなさまにお願いする趣旨で区長会長の名が連なるのは構わないが、署名の要望者代表は、区長会で要望するものではない

ので、委員長の名前だけで良いのではないかと思います。

(委員)

要望項目の中に、町民が利用できるようになる旨の記載を盛り込んだら良いのではないかと思います。

また、署名と一緒に募金もお願いして進めていかないとあまり進展しないような気がする。

(委員長)

要望項目の件については、例えば、以前ホールのような話があったが、そういうものは適当でないので、町民が利用できるように配慮してほしいなどといった表現の工夫をする必要がある。

また、募金活動については、できればそうしたいというのが本音だが、地区によって温度差があって、区長さんの立場も考えると、まずは説明会で理解促進を図り、そこで町民の理解を深めてから、段階的に取り組んでいかないと前に進まないという状況にある。

(事務局)

署名をいただく際に、郵便局の振込み用紙付のちらしも添付させていただければと思っている。

町民の方が利用できるようにとの趣旨は、署名の案内の中に記述していく必要性を感じたところなので、その方向で考えていきたい。

(委員)

署名はどれくらいの数を目標としているのか。署名の表題にその辺の目標を盛り込んだ表題にすればインパクトが出てくると思う。

(委員)

この募金は、目標額が5億円と聞いているが、もう少しで目標に届くような数字が出れば、やる気も出てくるのではないかと思います。署名の数も保存活動の時に集めた5万人を目標にするのか、はっきりさせると良いと思う。

(委員長)

具体的に、何人という考え方をもっているのか。

(事務局)

募金箱に投じた方の数がカウントできていないので、その人数分を最低限フォローしたいと考えている。そうした意味では13,000人分の署名は最低でも集めたい。

(委員)

署名する人の年齢に制限はあるのか。本人でなければいけないのか。代筆でも構わないのか。

(事務局)

署名は原則として本人が行うものであるが、小さな子どもなどについては親の判断で代筆することもあると思うし、本人の筆跡に限るつもりはない。

(委員)

団体向け説明会の際に、企業、医師会向けに団体と通じて協力をお願いしたらどうかといった意見があったと思うが、その後どうしたのか。

(事務局)

法人に対しては、役員会や医師会などを通じて協力依頼をしてきたが、募金額の大きな伸びに結びついていない。

(委員)

寄附のお願いで知り合いに声をかけると、再建は町がするのか県がするのか、町民にどんなメリットがあるのか、町長や議員が寄附していないのに何で町民に寄附を求めるのか、西武鉄道は寄附したのか、いくら集めるつもりなのかといった質問を受ける。その度に、再建主体はまだ決まっていないようだ。公職者が寄附することは法律的に難しいそうだ。いくら集めるかは目標5億円と聞いているが・・・といった具合に対応が苦しい。

また、署名(案)の文書表現だが、語尾が強くて、お願いする文章になっていない気がする。

(委員長)

県も財政状況が厳しい中でお金をどう工面するか苦慮しているところ。町民へのメリットは、かつて塀の中にあった屋敷がこれからは公園の施設としてみなさんも利用でき得るということで理解してもらったら良いのではないか。

(事務局)

署名の頭書きについては、目標数字を盛り込むなどインパクトのある表現に改める方向で検討したい。また、頑張れば届く目標額を新たに設定するかどうかは、理事者へ報告したうえで考えていきたい。

5 その他

(委員長)

地区の説明会は私も参加するが、みなさんにも都合がつく時は出て欲しいと思う。また、説明会の開催状況を報告するため、また日を改めて委員会を開催したいと考えている。

6 閉会

(委員長)

本日は長時間どうもありがとうございました。